

法話のきほん

真宗

いとう えしん
伊東恵深著

▼46判・並製カバー138頁・本体1,300円十税

2020年11月刊行



「なにを話せばいいのか」「どう話せば伝わるのか」…もう悩まない！
どう話を考え作るのか、話す時や原稿を書く時に気をつけることは何か。法話の理念・準備・実践をゼロから学べる一冊。「話し上手」になるためのコツ満載！

【目次】

はじめに

理念篇 「法話」とは何か

第1章 仏法との出遇いを語る

第2章 法話と説教

第3章 「教えを伝える」とは

第4章 憶念し続ける

コラム1 法話と拍手

準備篇 法話の作り方

第1章 構想を練る

1 二つの作成方法／2 主題を明確にする／3 構成を考える

第2章 原稿を書く

1 分量と時間配分／2 法話作成の見本

第3章 推敲する

1 難しいことをやさしく、やさしいことを深く／2

小見出し原稿を作る

第4章 「まなぶ」は「まねぶ」

コラム2 本山法話での大失敗

実践篇 気をつけること

第1章 法話前

1 日時・場所・衣体などの確認／2 身なりを整える／3 発声練習をする／4 一緒にお勤めする

第2章 法話中

1 一期一会を心がける／2 声の大きさに注意して、語尾はハッキリと／3 顔をあげて、視野を広く／4

椅子には座らない／5 言葉は短く、間を大切に／6 板書は大きく、要点のみ／7 困ったときは聴衆に甘える／8 余韻を大切に

第3章 法話後

1 全体を振り返る／2 法話帳を作る／3 メモ書きで法話する／4 日頃から準備しておく

コラム3 スーパーに学ぶ

おわりに

聞いて、書いて、語る

チェックリスト

参考資料

あとがき

◆著者略歴

一九七七年、京都府生まれ。大谷大学文学部真宗学科卒業。同大学院博士後期課程修了。
真宗大谷派親鸞仏教センター研究員、同朋大学文学部仏教学科専任講師、同准教授などを経て、現在、真宗大谷派西弘寺住職、博士(文学)。真宗大谷派擬講。
著書に、『教行信証大綱』—曾我量深講義録 上、『真宗大綱』—曾我量深講義録 下(伊東慧明氏との共編、春秋社)、『親鸞と清沢満之』—真宗教学における覚醒の考究(春秋社)などがある。

注文書	
(書店印)	
ご担当	様冊
伊東恵深著	法藏館
ISBN:978-4-8318-8776-4 C0015	本体1,300円十税
お名前	住所
お電話	

法話のきほん

ご注文はFAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp